

事後評価書

箇所名	城南地区		事業名	地盤沈下対策事業		課名	農業基盤整備課	
事業概要	工期 (下段当初)*	平成5年～平成21年	全体事業費 (下段当初)*	2,844百万円 (負担率: 国50: 県40: 他10)				
		平成5年～平成20年		2,200百万円 (負担率: 国50: 県40: 他10)				
事業目的及び内容		<p>【事業目的】 本地区は、桑名市の南端揖斐川河口右岸に位置し東に旧長島町、西に川越町に接しており地区の標高はマイナス2.2m～マイナス0.5mの範囲で、自然排水が出来ない海拔0m地帯となっている。用水状況は、員弁川から取水する町屋用水に依存しており、町屋用水は頭首工と左右岸の幹線水路が、県営かんがい排水事業町屋川地区で整備され、支線については団体営かんがい排水事業によりS38年頃に整備された。しかし、整備後からの地盤沈下量は、約0.3m～1.2mにも及び、漏水、水路の不陸による通水量不足低下など、施設に多大の機能障害が発生し、排水状況も地盤沈下により、排水機的能力低下もさることながら、排水路についても勾配変化や水路底の凸凹による流下能力の減退、水路内への堆砂による通水断面積の縮小など通水機能低下が著しく雨水の円滑な排除ができず、営農の大きな障害となっていた。</p> <p>これら用排水施設の整備により、地盤沈下による用水路・排水路の機能障害の解消および農業基盤の高度利用と農業経営の安定化を図ることが本事業の目的である。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用水路工 L=26,335m 排水路工 L=9,568m 揚水機工 1箇所 (φ400mm×3台) 						
1・事業の効果		<p>【費用対効果分析】 (H19 新たな土地改良の効果算定マニュアル)</p> <p>H15再評価時投資効率 = 1.11 最終計画変更時投資効率 = 1.32 完了後現在の投資効率 = 1.37</p> <p>【効果の検証】 地盤沈下は終息状況にあり、事業完了後に沈下による施設の被害はありませんでした。</p>						
2・事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化		<ul style="list-style-type: none"> ・工事の際には濁水対策を行い、周囲の環境に十分配慮しました。 ・アンケート結果からも事業実施前後の自然環境は大きく変わっていないことが伺えます。 						

3・事業を巡る社会経済情勢等の変化

・本地区における認定農業者数と農地集積化率は増加傾向にあります。

	平成5年	平成22年	平成25年
認定農業者数	0人	5人	7人
農地集積化率	0%	8.8%	18.6%

(桑名市への聞き取りによる)

4・県民の意見

○アンケート調査内容

排水機場を更新した9地区（立田地区、大平地区、福岡町地区、大貝須地区、萱町地区、福江地区、小泉地区-1、小泉地区-2、福地地区）の住民186戸に対して配布しました。

質問事項は1.居住地 2.農業をしているか 12.事業の認知度 13.農作業の委託状況 14今後の農業について 15.農業面での効果 16.農業面以外の効果 17.周辺環境への影響 18.その他の意見の9項目です。（湛水防除事業：城南地区のアンケートと合わせて行いましたので、Q1、Q2は湛水防除事業と重複、Q3からQ11は湛水防除事業のアンケート項目です。）

○調査結果

農家95戸、非農家60戸の155戸から返信がありました。（回収率83.3%）

- ・Q2. 農業をしているかは、兼業農家（農業収入副）が52%ともっとも多かったです。
- ・Q12. 事業の認知度も排水路改修を基本として認知されています。
- ・Q13. 農作業の委託状況については、委託している方が全体の82%を占め、
- ・Q13-1-a. 委託の割合は、一部委託の方が全体のうち62人ともっとも多かったです。
- ・Q13-1-b. 農作業の委託内容は、刈り取りが全体のうち45人ともっとも多い回答でした。
- ・Q14. 今後の農業については「今後も続けたい」との回答が49人と最も多く、そのうち86%は自分たちができるまで続けたいとの回答がありました。何歳ぐらいまでとの質問には37%の方が80才までは続けたいという回答でした。
- ・Q15. 農業面での効果は、全体のうち53人の方は、「効果あり」との回答でした。
どのような、効果があったかの質問には、45人の方が「農道、用水路、排水路の維持管理が楽」と回答されました。
- ・Q16. 農業以外の効果は、「雨水排水の改善」、「大雨時の安全、安心」と回答いただきました。
- ・Q17. 周辺環境への影響は、全体のうち130人の方は環境の変化なしに回答がありました。
- ・Q18. その他の意見は以下のとおりです。
 - ・水の管理が大変しやすくなった。
 - ・継続して事業を実施してほしい。
 - ・安心・安全・安定を今後ともお願いします。
 - ・用水路がパイプラインになって水の管理がしやすくなった。

5・再評価の経緯

平成15年度第3回三重県公共事業再評価審査委員会において、事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承されました。

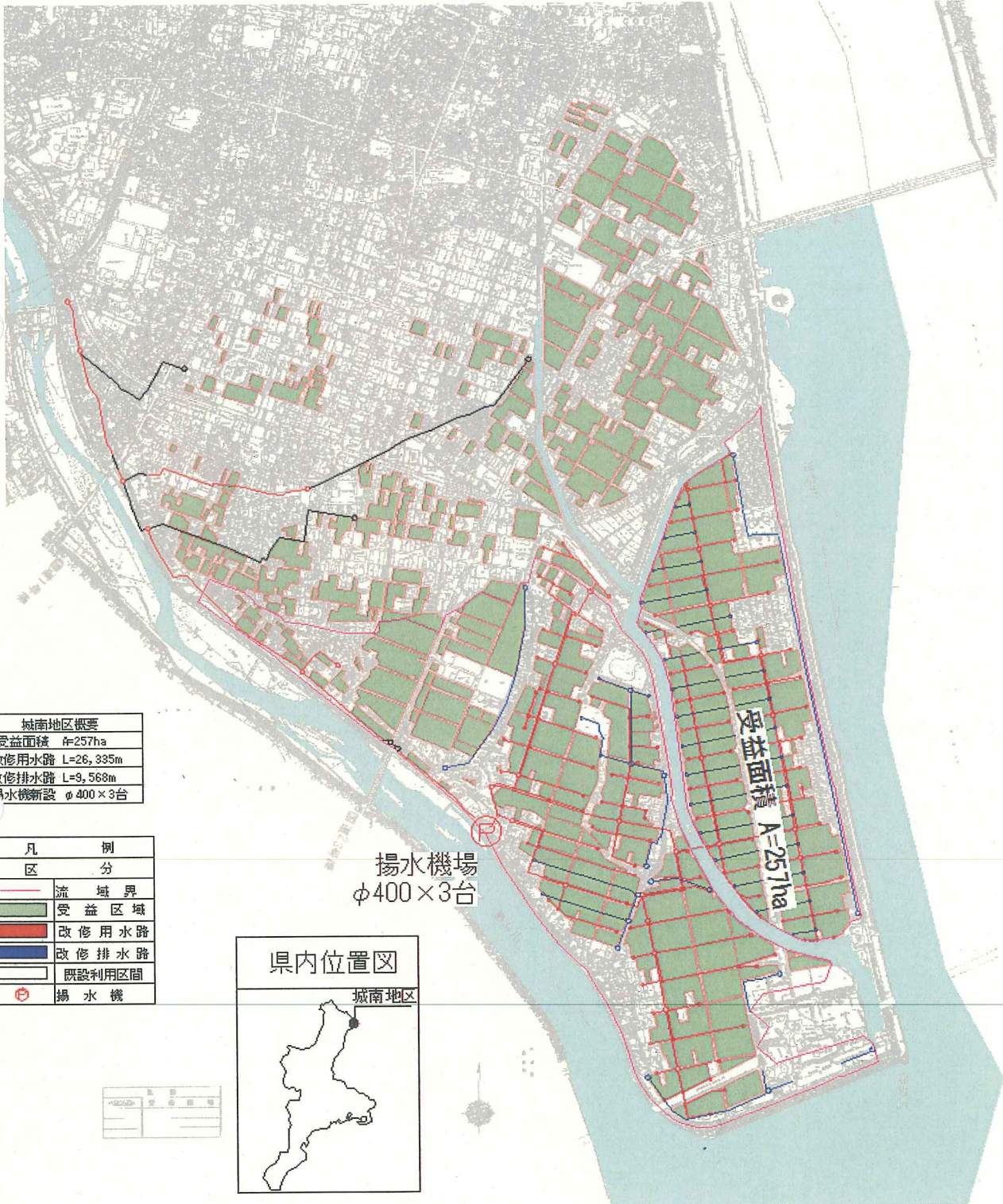
6・今後の課題等

○事業実施における課題

地盤沈下は収まりつつありますが、沈下量の調査結果を注視しながら、必要に応じて対策事業を行います。

県営地盤沈下対策事業 城南地区

県営地盤沈下対策事業 城南地区 計画一般平面図



城南地区概要	
受益面積	A=2571ha
改修用水路	L=26,335m
改修排水路	L=8,568m
揚水機新設	φ400×3台

凡 例	
区 分	
	流域界
	受益区域
	改修用水路
	改修排水路
	既設利用区間
	揚水機



縮尺	
縦	1:10,000
横	1:10,000